

英語：文学部英語英米文学科専門科目

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～5：●1～5のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

科目名の前に付いている記号

◎：教職課程履修者は、履修することが望ましい科目。

☆：文学部英語英米文学科専門科目として2019年度に開講された「アメリカ文学史(2)」「イギリス小説1(2)」「イギリス小説3(2)」は、下表の科目とは別科目のため、教職の「教科に関する科目」として認められないため注意すること。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～5の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 中学校：24単位 高等学校：28単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度					
			2023	2022	2021	2020	2019	
英語学	英語学研究入門	(2)	●1	/	/	/	/	/
	第二言語習得から見る英語学習	(2)	●1	/	/	/	/	/
	英語のナラティブ分析	(2)	●1	/	/	/	/	/
	英語学	(2)	●1	/	/	/	/	/
	英語学研究入門1	(2)	/	●1	●1	●1	●1	
	英語学研究入門2	(2)	/	●1	●1	●1	●1	
	英語学1	(2)	/	●1	●1	●1	●1	
	英語学2	(2)	/	●1	●1	●1	●1	
	English Linguistics 1	(2)	/	●1	●1	●1	●1	
	English Linguistics 2	(2)	/	●1	●1	●1	●1	
	英語の歴史	(2)	○	/	/	/	/	
	◎ Pronunciation Clinic	(2)	○	/	/	/	/	
	英米文化専門講読1 0	(2)	/	○	○	○	○	
	英米文化専門講読1 1	(2)	/	○	○	○	○	
	英語の歴史1	(2)	/	○	○	○	○	
	英語の歴史2	(2)	/	○	○	○	○	
英語の発音1	(2)	/	○	○	○	○		
英語の発音2	(2)	/	○	○	○	○		
英語文学/英米文学	イギリス研究入門1	(2)	●2	/	「異文化理解」参照			/
	イギリス研究入門2	(2)	●2	●2	●2	●2	●2	
	イギリス研究入門3	(2)	●2	/	/	/	/	
	イギリス文学史	(2)	●2	/	/	/	/	
	イギリス研究入門4	(2)	/	●2	●2	●2	●2	
	イギリス研究入門5	(2)	/	●2	●2	●2	●2	
	イギリス文学史1(詩)	(2)	/	●2	●2	●2	●2	
	イギリス文学史2(劇)	(2)	/	●2	●2	●2	●2	
	イギリス文学史3(小説)	(2)	/	●2	●2	●2	●2	
	アメリカ研究入門1	(2)	●3	/	「異文化理解」参照			/
	☆ アメリカ文学史	(2)	●3	●3	●3	●3	●3	
	アメリカ詩	(2)	●3	/	/	/	/	
	アメリカ演劇	(2)	●3	/	/	/	/	
	アメリカ詩1	(2)	/	●3	●3	●3	●3	
	アメリカ詩2	(2)	/	●3	●3	●3	●3	
	アメリカ演劇1	(2)	/	●3	●3	●3	●3	
	アメリカ演劇2	(2)	/	●3	●3	●3	●3	
	アメリカ小説1	(2)	○	○	○	○	○	
	アメリカ小説2	(2)	○	○	○	○	○	
	イギリス詩1	(2)	○	○	○	○	○	
	イギリス詩2	(2)	○	○	○	○	○	
	イギリス演劇1	(2)	○	○	○	○	○	
	イギリス演劇2	(2)	○	○	○	○	○	
	☆ イギリス小説1	(2)	○	○	○	○	○	
	イギリス小説2	(2)	○	○	○	○	○	
	アメリカ小説3	(2)	/	/	/	/	/	
英米文化専門講読2	(2)	/	○	○	○	○		
英米文化専門講読4	(2)	/	○	○	○	○		
英米文化専門講読5	(2)	/	○	○	○	○		
イギリス詩3	(2)	/	○	○	○	○		
イギリス演劇3	(2)	/	○	○	○	○		
☆ イギリス小説3	(2)	/	○	○	○	○		

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
英語コミュニケーション	Academic Writing	(2)	●4	/	/	/	/
	Business Communication	(2)	●4	/	/	/	/
	Focus on Listening and Reading	(2)	●4	/	/	/	/
	Writing Workshop	(2)	●4	/	/	/	/
	Academic Skills	(2)	●4	/	/	/	/
	Academic Writing 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Academic Writing 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Global Issues 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Global Issues 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Business Communication 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Business Communication 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Literature and Culture 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Literature and Culture 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Focus on Listening and Reading 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Focus on Listening and Reading 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Writing Workshop 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Writing Workshop 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Academic Skills 1	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	Academic Skills 2	(2)	/	●4	●4	●4	●4
	異文化理解	アメリカ研究入門3	(2)	●5	●5	●5	●5
日英語の発想と表現		(2)	●5	●5	●5	●5	○
Thought and Expression in English		(2)	●5	●5	●5	●5	○
アメリカ研究入門1		(2)	[英文学] 類	●5	●5	●5	●5
イギリスの芸術		(2)	○	/	/	/	/
英語圏の映画と映像		(2)	○	/	/	/	/
英語と社会・文化		(2)	○	/	/	/	/
イギリス研究入門1		(2)	[英文学] 類	○	○	○	○
アメリカ研究入門2		(2)	/	○	○	○	○
英米文化専門講読1		(2)	/	○	○	○	○
英米文化専門講読6		(2)	/	○	○	○	○
英米文化専門講読7		(2)	/	○	○	○	○
英米文化専門講読8		(2)	/	○	○	○	○
イギリス文化史		(2)	/	○	○	○	○
イギリスの文化と芸術1		(2)	/	○	○	○	○
イギリスの文化と芸術2		(2)	/	○	○	○	○
英米芸術史		(2)	/	○	○	○	○
英語圏の映画と映像1		(2)	/	○	○	○	○
英語圏の映画と映像2		(2)	/	○	○	○	○
英語圏の映画と映像3		(2)	/	○	○	○	○
英語圏の映画と映像4		(2)	/	○	○	○	○
英語と社会・文化1		(2)	/	○	○	○	○
英語と社会・文化2		(2)	/	○	○	○	○

## 国語：文学部日本語日本文学科専門科目

### 【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～6：●1～6のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

### 【注意事項】

(1) A,Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(2) 科目名の前に付いている記号

☆：中一種免許状取得については、「書道」の科目をいずれか1科目必修とする。

なお、「書道」の科目は高一種免許状取得のための単位には算入されない。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～6の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 中学校：24単位（書道●6を含む） 高等学校：28単位（書道●6を除く）

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論A	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	日本語学概論B	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	基礎論文演習(文章表現)	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	日本語の歴史A	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の歴史B	(2)	○	○	○	○	○
	日本語文法研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	日本語学概論研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	日本語音声研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	方言研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	日本語教育研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	日本語の形態と構文	(2)	/	/	/	/	/
	日本語の意味と語彙	(2)	/	/	/	/	/
	日本語の音声とアクセント	(2)	/	/	/	/	/
	日本語の文体と語法	(2)	/	/	/	/	/
	日本の漢字と国語辞書	(2)	○	○	○	○	○
国文学 (国文学史を含む。)	日本語の敬語	(2)	/	/	/	/	/
	日本古典文学史(古代)(1)	(2)	●3	/	/	/	/
	日本古典文学史(中近世)(1)	(2)	●3	/	/	/	/
	日本古典文学史1	(2)	/	●3	●3	●3	●3
	日本古典文学史2	(2)	/	●3	●3	●3	●3
	日本古典文学史3	(2)	/	●3	●3	●3	●3
	日本古典文学史4	(2)	/	●3	●3	●3	●3
	日本近代文学史A	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	日本近代文学史B	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	上代文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	中古文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	中世文学研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	近世文学研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	近現代文学研究の方法	(2)	/	/	/	/	/
	神話の世界	(2)	○	○	○	○	○
	古代和歌の世界	(2)	○	/	/	/	/
	古代和歌の世界A	(2)	/	/	/	/	/
	古代和歌の世界B	(2)	○	○	○	○	○
	物語の世界	(2)	○	/	/	/	/
	物語の世界A	(2)	/	/	/	/	/
	物語の世界B	(2)	/	/	/	/	/
	日記の世界	(2)	/	/	/	/	/
	随筆の世界	(2)	/	/	/	/	/
	筆記の世界	(2)	/	/	/	/	/
	説話の世界	(2)	/	/	/	/	/
中世和歌の世界	(2)	/	/	/	/	/	
近世小説の世界	(2)	/	/	/	/	/	
俳諧の世界	(2)	/	/	/	/	/	
近代小説の世界	(2)	/	/	/	/	/	
現代小説の世界	(2)	/	/	/	/	/	
近現代詩歌の世界	(2)	/	/	/	/	/	
同時代文学の世界	(2)	/	/	/	/	/	
文学と文学	(2)	/	/	/	/	/	
文学と子ども	(2)	/	/	/	/	/	
漢文学	漢文学概説A	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	漢文学概説B	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	漢文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	漢字の世界	(2)	/	/	/	/	/
	漢詩漢文の世界	(2)	○	○	○	○	○
書道(書写を中心とする。)	日中比較言語・文学の世界	(2)	/	/	/	/	/
	☆ 書道	(1)	●6	/	/	/	/
	☆ 書道A	(1)	/	●6	●6	●6	●6
	☆ 書道B	(1)	/	●6	●6	●6	●6



社会：国際交流学部国際交流学科専門科目等

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～8：●1～8のそれぞれで、必ず1科目以上必ず修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

／：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) A.Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(2) 「哲学A / 哲学A (2)」 「哲学B / 哲学B (2)」はC.L.Aコア科目。

【教科に関する科目の最低修得単位 (※●1～8の単位をそれぞれ含むこと)】

2019年度以降入学者 中学校：24単位

※本学では、地理歴史・公民の免許の両方を取得する必要があるため、教科に関する科目の修得単位の計算は地理歴史・公民で確認すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
日本史・外国史 / 日本史及び外国史	日本史概説A	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	日本史概説B	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	横浜学	(2)	○	○	○	○	○
	日本外交史	(2)	○	○	○	○	○
	日本社会史	(2)	○	○	○	○	○
	横浜学総論	(2)	○	○	○	○	○
	近代日本と国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	日本文化の原風景	(2)	○	○	○	○	○
	日米関係史	(2)	○	○	○	○	○
	現代日本と国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	現代社会に見る日本文化	(2)	○	○	○	○	○
	世界史概説A	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	世界史概説B	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	アジア史概説	(2)	○	○	○	○	○
	東アジアの近現代史	(2)	○	○	○	○	○
	東アジアの国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	中国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	韓国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北朝鮮現代史	(2)	○	○	○	○	○
	現代中国入門	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ史	(2)	○	○	○	○	○
	フランス史	(2)	○	○	○	○	○
	ドイツ史	(2)	○	○	○	○	○
	スペイン史	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカ社会史	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカ史	(2)	○	○	○	○	○
	東アジアの近・現代史A	(2)	○	○	○	○	○
	東アジアの近・現代史B	(2)	○	○	○	○	○
	東アジア・東南アジアの近・現代史A	(2)	○	○	○	○	○
	東アジア・東南アジアの近・現代史B	(2)	○	○	○	○	○
	中国近代史	(2)	○	○	○	○	○
	ロシアと現代中国	(2)	○	○	○	○	○
	近現代中国思想と日本	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ近代史	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北ヨーロッパの歴史	(2)	○	○	○	○	○
	フランス現代史	(2)	○	○	○	○	○
	歴史からみるドイツ	(2)	○	○	○	○	○
	歴史からみるスペイン語圏	(2)	○	○	○	○	○
	スペイン現代史	(2)	○	○	○	○	○
	スペインの歴史	(3)	○	○	○	○	○
	アメリカ史1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカ史2	(2)	○	○	○	○	○
	現代アメリカ論1	(2)	○	○	○	○	○
現代アメリカ論2	(2)	○	○	○	○	○	
イギリス史1	(2)	○	○	○	○	○	
イギリス史2	(2)	○	○	○	○	○	
イギリス史3	(2)	○	○	○	○	○	
現代イギリス論	(2)	○	○	○	○	○	
地理学 (地誌を含む。)	人文地理学	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	自然地理学	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	地球環境	(2)	○	○	○	○	○
	持続可能な資源利用	(2)	○	○	○	○	○
	資源問題	(2)	○	○	○	○	○
	世界の人口問題	(2)	○	○	○	○	○
	地誌	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	ユーラシアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治	(2)	○	○	○	○	○
	アフリカを学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	○	○	○	○	○
	移住と文化の理論	(2)	○	○	○	○	○
	スペイン語圏の文化と社会	(2)	○	○	○	○	○
	東南アジアの政治	(2)	○	○	○	○	○
	ロシア研究	(2)	○	○	○	○	○
	コリアン・スタディーズ	(2)	○	○	○	○	○
	アジアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの文化と社会	(3)	○	○	○	○	○
	南アジアの経済	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの労働	(2)	○	○	○	○	○
	中東の文化と社会	(3)	○	○	○	○	○
	中東を学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
ヨーロッパ統合論	(2)	○	○	○	○	○	
ヨーロッパ地域論	(2)	○	○	○	○	○	

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
地理学(地誌を含む)	フランスの政治	(2)		○	○	○	○
	イギリスの政治と社会1	(2)		○	○	○	○
	イギリスの政治と社会2	(2)		○	○	○	○
	イギリスの文化	(2)		○	○	○	○
	アメリカの政治と社会1	(2)		○	○	○	○
	アメリカの政治と社会2	(2)		○	○	○	○
	アメリカの文化1	(2)		○	○	○	○
	アメリカの文化2	(2)		○	○	○	○
	ラテンアメリカの文化と社会	(2)		○	○	○	○
	ラテンアメリカの文化と社会	(2)		○	○	○	○
法律学、政治学	政治学概論	(2)	●6	●6	●6	●6	●6
	国際関係論	(2)	○	○	○	○	○
	人権保障と法	(2)	○	○	○	○	○
	国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	文化外交	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル化と労働	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治	(2)	○	○	○	○	○
	国際平和論	(2)	○	○	○	○	○
	国際社会と法	(2)	○	○	○	○	○
	国際経済と法	(2)	○	○	○	○	○
	地域統合	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治思想史	(2)	○	○	○	○	○
	安全保障	(2)	○	○	○	○	○
	比較法律家論	(2)	○	○	○	○	○
	ジェンダーと法	(2)	○	○	○	○	○
	セクシュアリティと法	(2)	○	○	○	○	○
	SDGs入門	(2)	○	○	○	○	○
	東アジアの安全保障	(2)	○	○	○	○	○
	近代国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	戦後国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治の視角	(2)	○	○	○	○	○
	国際機関と国際平和	(2)	○	○	○	○	○
	日本政治思想史	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる世界A	(2)	○	○	○	○	○
法でみる世界B	(2)	○	○	○	○	○	
法でみる社会A	(2)	○	○	○	○	○	
法でみる社会B	(2)	○	○	○	○	○	
社会学、経済学	社会学概論A	(2)	●7	●7	●7	●7	●7
	社会学概論B	(2)	●7	●7	●7	●7	●7
	身体と生命の社会学	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル化する仕事と家族	(2)	○	○	○	○	○
	ジェンダーと持続可能な開発	(2)	○	○	○	○	○
	環境と持続可能性のまちづくり	(2)	○	○	○	○	○
	家族の比較文化論	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカ文化論	(2)	○	○	○	○	○
	国際交通論	(2)	○	○	○	○	○
	社会政策論	(2)	○	○	○	○	○
	観光社会学	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル経済	(2)	○	○	○	○	○
	日本経済の歴史	(2)	○	○	○	○	○
	現代の日本経済	(2)	○	○	○	○	○
	国際経済学	(2)	○	○	○	○	○
	途上国と開発経済学	(2)	○	○	○	○	○
	開発援助論	(2)	○	○	○	○	○
	国際開発の理論と実践	(2)	○	○	○	○	○
	市民社会の国際協力	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカと国際経済	(2)	○	○	○	○	○
	コーポレート・ガバナンスと日本企業	(2)	○	○	○	○	○
	金融入門	(2)	○	○	○	○	○
	マーケティング論	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ社会史	(2)	○	○	○	○	○
	現代日本の経済問題	(2)	○	○	○	○	○
	経営史	(2)	○	○	○	○	○
	イノベーションと社会	(2)	○	○	○	○	○
	入門経済学1	(2)	○	○	○	○	○
	入門経済学2	(2)	○	○	○	○	○
	アジア経済論	(2)	○	○	○	○	○
	金融論	(2)	○	○	○	○	○
	ジェンダーと持続可能な開発(1)	(2)	○	○	○	○	○
	ジェンダーと持続可能な開発(2)	(2)	○	○	○	○	○
	現代家族と福祉	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ社会福祉史	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル化する社会	(2)	○	○	○	○	○
	統計で学ぶ社会問題(基礎)	(2)	○	○	○	○	○
	統計で学ぶ社会問題(応用)	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル・ビジネス	(2)	○	○	○	○	○
	世界の格差と国際協力	(2)	○	○	○	○	○
在日外国人	(2)	○	○	○	○	○	
余暇と旅行	(2)	○	○	○	○	○	
民族問題から見た世界情勢	(2)	○	○	○	○	○	
近代グローバル経済の発展	(2)	○	○	○	○	○	
国際交通ビジネス	(2)	○	○	○	○	○	
哲学A	(2)	●8	●8	●8	●8	●8	
哲学B	(2)	●8	●8	●8	●8	●8	
世界の宗教	(2)	○	○	○	○	○	
イスラームと世界	(2)	○	○	○	○	○	
政治思想論	(2)	○	○	○	○	○	
イギリスの思想と宗教	(2)	○	○	○	○	○	
アメリカの思想と宗教	(2)	○	○	○	○	○	
キリスト教と文化	(2)	○	○	○	○	○	
ヨーロッパ世界とキリスト教	(2)	○	○	○	○	○	
現代思想論	(2)	○	○	○	○	○	
儒教と世界	(2)	○	○	○	○	○	
前近代の中国思想	(2)	○	○	○	○	○	

## 地理歴史：国際交流学部国際交流学科専門科目

### 【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～5：●1～5のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

### 【注意事項】

(1) A,Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～5の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 高等学校：28単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
日本史	日本史概説A	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	日本史概説B	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	横浜学	(2)	○	/	/	/	/
	日本外交史	(2)	○	/	/	/	/
	日本社会史	(2)	○	/	/	/	/
	横浜学総論	(2)	/	○	○	○	○
	近代日本と国際関係	(2)	/	○	○	○	○
	日本文化の原風景	(2)	/	○	○	○	○
	日米関係史	(2)	/	○	○	○	○
	現代日本と国際関係	(2)	/	○	○	○	○
	現代社会に見る日本文化	(2)	/	○	○	○	○
	世界史概説A	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	世界史概説B	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
外国史	アジア史概説	(2)	○	/	/	/	/
	東アジアの近現代史	(2)	○	/	/	/	/
	東アジアの国際関係史	(2)	○	/	/	/	/
	中国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	韓国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北朝鮮現代史	(2)	○	○	○	○	○
	現代中国入門	(2)	○	/	/	/	/
	ヨーロッパ史	(2)	○	/	/	/	/
	フランス史	(2)	○	/	/	/	/
	ドイツ史	(2)	○	/	/	/	/
	スペイン史	(2)	○	/	/	/	/
	イギリス史	(2)	○	/	/	/	/
	アメリカ社会史	(2)	○	/	/	/	/
	アメリカ史	(2)	○	/	/	/	/
	東アジアの近・現代史A	(2)	/	○	○	○	○
	東アジアの近・現代史B	(2)	/	○	○	○	○
	東アジア・東南アジアの近・現代史A	(2)	/	○	○	○	○
	東アジア・東南アジアの近・現代史B	(2)	/	○	○	○	○
	中国近代史	(2)	/	○	○	○	○
	ロシアと現代中国	(2)	/	○	○	○	○
	近現代中国思想と日本	(2)	/	○	○	○	○
	ヨーロッパ近代史	(2)	/	○	○	○	○
	ヨーロッパ現代史	(2)	/	○	○	○	○
	北ヨーロッパの歴史	(2)	/	○	○	○	○
	フランス現代史	(2)	/	○	○	○	○
	歴史からみるドイツ	(2)	/	○	○	○	○
	歴史からみるスペイン語圏	(2)	/	○	○	○	○
	スペイン現代史	(2)	/	○	○	○	○
	<del>スペインの歴史</del>	(2)	/	○	○	○	○
	アメリカ史1	(2)	/	○	○	○	○
	アメリカ史2	(2)	/	○	○	○	○
	現代アメリカ論1	(2)	/	○	○	○	○
現代アメリカ論2	(2)	/	○	○	○	○	
イギリス史1	(2)	/	○	○	○	○	
イギリス史2	(2)	/	○	○	○	○	
イギリス史3	(2)	/	○	○	○	○	
現代イギリス論	(2)	/	○	○	○	○	
人文地理学及び自然地理学	人文地理学	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	自然地理学	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	地球環境	(2)	○	/	/	/	/
	持続可能な資源利用	(2)	○	/	/	/	/
	資源問題	(2)	/	○	○	○	○
	世界の人口問題	(2)	/	○	○	○	○

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
地誌	地誌	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	ユーラシアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治	(2)	○	○	○	○	○
	アフリカを学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	○	○	○	○	○
	移住と文化の理論	(2)	○	○	○	○	○
	スペイン語圏の文化と社会	(2)	○	○	○	○	○
	東南アジアの政治	(2)	○	○	○	○	○
	ロシア研究	(2)	○	○	○	○	○
	コリアン・スタディーズ	(2)	○	○	○	○	○
	アジアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	<del>南アジアの文化と社会</del>	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの経済	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの労働	(2)	○	○	○	○	○
	<del>中東の文化と社会</del>	(2)	○	○	○	○	○
	中東を学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ統合論	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ地域論	(2)	○	○	○	○	○
	フランスの政治	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの政治と社会1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの政治と社会2	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの文化	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治と社会1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治と社会2	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの文化1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの文化2	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカの文化と社会	(2)	○	○	○	○	○



公民：国際交流学部国際交流学科専門科目等

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～3：●1～3のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) A.Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(2) 「哲学A / 哲学A（2）」「哲学B / 哲学B（2）」はC.L.Aコア科目。

【教科に関する科目の最低修得単位数（※●1～3の単位数をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 高等学校：28単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度					
			2023	2022	2021	2020	2019	
法学 (国際法を含む)、政治学 (国際政治を含む)	政治学概論	(2)	●1	●1	●1	●1	●1	
	国際関係論	(2)	○	○	○	○	○	
	人権保障と法	(2)	○	○	○	○	○	
	国際関係史	(2)	○	/	/	/	/	
	文化外交	(2)	○	/	/	/	/	
	グローバル化と労働	(2)	○	/	/	/	○	
	国際政治	(2)	○	/	/	/	/	
	国際平和論	(2)	○	/	/	/	/	
	国際社会と法	(2)	○	○	○	○	○	
	国際経済と法	(2)	○	○	○	○	○	
	地域統合	(2)	○	○	○	○	○	
	ヨーロッパ政治思想史	(2)	○	○	○	○	○	
	安全保障	(2)	○	○	○	○	○	
	比較法学家論	(2)	○	/	/	/	/	
	ジェンダーと法	(2)	○	○	○	○	○	
	セクシュアリティと法	(2)	○	/	/	/	/	
	SDGs入門	(2)	○	/	/	/	/	
	東アジアの安全保障	(2)	○	/	/	/	/	
	近代国際関係史	(2)	/	○	○	○	○	
	戦後国際関係史	(2)	/	○	○	○	○	
	国際政治の基礎	(2)	/	○	○	○	○	
	国際政治の見方	(2)	/	○	○	○	○	
	国際機構と国際平和	(2)	/	○	○	○	○	
	日本政治思想史	(2)	/	○	○	○	○	
	法でみる世界A	(2)	/	○	○	○	/	
	法でみる世界B	(2)	/	○	○	○	/	
	法でみる社会A	(2)	/	○	○	○	/	
	法でみる社会B	(2)	/	○	○	○	/	
	社会学、経済学 (国際経済を含む)	社会学概論A	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
		社会学概論B	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
身体と生命の社会学		(2)	○	○	○	○	○	
グローバル化する仕事と家族		(2)	○	○	○	○	○	
ジェンダーと持続可能な開発		(2)	○	/	/	/	/	
環境と持続可能性のまちづくり		(2)	○	/	/	/	/	
家族の比較文化論		(2)	○	/	/	/	/	
ラテンアメリカ文化論		(2)	○	/	/	/	/	
国際交通論		(2)	○	/	/	/	/	
社会政策論		(2)	○	/	/	/	/	
観光社会学		(2)	○	/	/	/	/	
グローバル経済		(2)	○	○	○	○	○	
日本経済の歴史		(2)	○	○	○	○	○	
現代の日本経済		(2)	○	○	○	○	○	
国際経済学		(2)	○	○	○	○	○	
途上国と開発経済学		(2)	○	○	○	○	○	
開発援助論		(2)	○	○	○	○	○	
国際開発の理論と実践		(2)	○	○	○	○	○	
市民社会の国際協力		(2)	○	○	○	○	○	
アメリカと国際経済		(2)	○	○	○	○	○	
コーポレート・ガバナンスと日本企業		(2)	○	○	○	○	○	
金融入門		(2)	○	○	○	○	○	
マーケティング論		(2)	○	/	/	/	/	
ヨーロッパ社会史		(2)	○	/	/	/	/	
現代日本の経済問題		(2)	○	/	/	/	/	
経営史		(2)	○	/	/	/	/	
イノベーションと社会		(2)	○	/	/	/	/	
入門経済学1	(2)	○	/	/	/	/		

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
社会学、経済学 (国際経済を含む。)	入門経済学2	(2)	○				
	アジア経済論	(2)	○				
	金融論	(2)	○				
	ジェンダーと持続可能な開発(1)	(2)		○	○	○	○
	ジェンダーと持続可能な開発(2)	(2)		○	○	○	○
	現代家族と福祉	(2)		○	○	○	○
	ヨーロッパ社会福祉史	(2)		○			
	グローバル化する社会	(2)		○	○	○	○
	統計で学ぶ社会問題(基礎)	(2)		○	○	○	○
	統計で学ぶ社会問題(応用)	(2)		○	○	○	○
	グローバル・ビジネス	(2)		○	○	○	○
	世界の格差と国際協力	(2)		○	○	○	○
	在日外国人	(2)		○	○	○	○
	余暇と旅行	(2)		○	○	○	○
	民族問題から見た世界情勢	(2)		○	○	○	○
	近代グローバル経済の発展	(2)		○	○	○	○
	国際交通ビジネス	(2)		○	○	○	○
	哲学A	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	哲学B	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	哲学、倫理学、宗教学、 心理学	世界の宗教	(2)	○	○	○	○
イスラームと世界		(2)	○	○	○	○	○
政治思想論		(2)	○				
イギリスの思想と宗教		(2)	○	○	○	○	○
アメリカの思想と宗教		(2)	○	○	○	○	○
キリスト教と文化		(2)	○	○			
ヨーロッパ世界とキリスト教		(2)			○	○	○
現代思想論		(2)		○	○	○	○
儒教と世界		(2)		○	○	○	○
前近代の中国思想		(2)		○	○	○	○

## 音楽：音楽学部音楽芸術学科専門科目

### 【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～14：●1～14のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

／：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

### 【注意事項】

(1) P A 個人実技15/30/45は2019年度以降入学者対象科目。

(2) A, B の履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(3) 科目名の前に付いている記号

■：音楽学部内開放科目

☆①：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：ピアノデュオに限る。

☆②：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：鍵盤楽器伴奏法に限る。

☆③：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：声楽、ピアノデュオ、鍵盤楽器伴奏法、ポピュラー系キーボード、ソルフェージュ、自由作曲、コンピュータ音楽制作を除く

☆④：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：自由作曲に限る。

(4) 科目名に網掛け：2018年度以前入学者対象科目。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～14の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 中学校：24単位 高等学校：28単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
ソルフェージュ	ソルフェージュA	(1)	●1	●1	●1	●1	●1
	ソルフェージュB	(1)	●1	●1	●1	●1	●1
	合唱I A	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱I B	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱II A	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱II B	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱III A	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱III B	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	P A 声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	P A 声楽アンサンブル (アドバンスト)	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	邦楽 I	(1)	●3	●3	●3	●3	●3
	基礎声楽 A	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	基礎声楽 B	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	P A 教職実技 (声楽)	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	P A 教職実技 (初見視唱・初見視奏)	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	P A 個人実技15 (声楽)	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	P A 個人実技30 (声楽)	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	P A 個人実技45 (声楽)	(3)	●4	●4	●4	●4	●4
	■ P A 副科個人実技A (声楽)	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	■ P A 副科個人実技B (声楽)	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
P A オペラ	(1)	○	○	○	○	○	
声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	合奏	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A ピアノデュオ	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A フルートアンサンブル	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	■ P A アンサンブル弦楽	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	■ P A アンサンブル管楽	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A アンサンブル管弦楽	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A 室内楽	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A 個人実技15 (室内楽)	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A 個人実技30 (室内楽)	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A 個人実技45 (室内楽)	(3)	●5	●5	●5	●5	●5
	■ ☆① P A 副科個人実技A (ピアノデュオ)	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	■ ☆① P A 副科個人実技B (ピアノデュオ)	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A 教職実技 (伴奏・即興演奏)	(1)	●6	●6	●6	●6	●6
	伴奏法 A	(1)	●6	●6	●6	●6	●6
	伴奏法 B	(1)	●6	●6	●6	●6	●6
	P A 個人実技15 (伴奏法)	(1)	●6	●6	●6	●6	●6
	P A 個人実技30 (伴奏法)	(2)	●6	●6	●6	●6	●6
	P A 個人実技45 (伴奏法)	(3)	●6	●6	●6	●6	●6
	■ ☆② P A 副科個人実技A (鍵盤楽器伴奏法)	(2)	●6	●6	●6	●6	●6
	■ ☆② P A 副科個人実技B (鍵盤楽器伴奏法)	(2)	●6	●6	●6	●6	●6
	基礎ピアノ A	(1)	●7	●7	●7	●7	●7
	基礎ピアノ B	(1)	●7	●7	●7	●7	●7
	P A 教職実技 (ピアノ)	(1)	●7	●7	●7	●7	●7
	P A 個人実技15 (器楽)	(1)	●7	●7	●7	●7	●7
	P A 個人実技30 (器楽)	(2)	●7	●7	●7	●7	●7
	P A 個人実技45 (器楽)	(3)	●7	●7	●7	●7	●7
	教職のためのピアノ A	(1)	/	/	/	●7	●7
教職のためのピアノ B	(1)	/	/	/	●7	●7	
■ ☆③ P A 副科個人実技A	(2)	●7	●7	●7	●7	●7	

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2023	2022	2021	2020	2019
器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	■ ☆③ P A副科個人実技B	(2)	●7	●7	●7	●7	●7
	■ P A教職副科個人実技A	(1)	●7	●7	●7	●7	●7
	■ P A教職副科個人実技B	(1)	●7	●7	●7	●7	●7
	邦楽2	(1)	●8	●8	●8	●8	●8
	P A個人実技15 (邦楽)	(1)	●8	●8	●8	●8	●8
	P A個人実技30 (邦楽)	(2)	●8	●8	●8	●8	●8
	P A個人実技45 (邦楽)	(3)	●8	●8	●8	●8	●8
	共演芸術 1 A	(2)	○	○	○	○	○
	共演芸術 1 B	(2)	○	○	○	○	○
	共演芸術 2 A	(2)	○	○	○	○	○
	共演芸術 2 B	(2)	○	○	○	○	○
	共演芸術 A	(2)	/	/	/	/	/
	共演芸術 B	(2)	/	/	/	/	/
	指揮法	コーラスリーダー・ワークショップ	(2)	●9	●9	●9	●9
指揮法		(2)	●9	●9	●9	●9	●9
指揮法 A		(2)	/	/	/	●9	●9
指揮法 B		(2)	/	/	/	●9	●9
音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)/音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)/音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)/及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	西洋音楽通史	(4)	●10	●10	●10	●10	●10
	日本音楽通史	(4)	●11	●11	●11	●11	●11
	P A教職実技(聴音・音楽理論)	(1)	●12	●12	●12	●12	●12
	和声 A	(2)	●12	/	/	/	/
	和声 B	(2)	●12	/	/	/	/
	和声 I A	(2)	/	●12	●12	●12	●12
	和声 I B	(2)	/	●12	●12	●12	●12
	コード理論 A	(2)	●12	/	/	/	/
	コード理論 B	(2)	●12	/	/	/	/
	和声 II A	(2)	/	●12	●12	●12	●12
	和声 II B	(2)	/	●12	●12	●12	●12
	ソングライティング	(2)	●13	/	/	/	/
	作・編曲法	(2)	/	●13	●13	●13	●13
	作曲を楽しまう A	(2)	●13	●13	●13	/	/
	作曲を楽しまう B	(2)	●13	●13	●13	/	/
	P A個人実技15 (作曲)	(1)	●13	●13	●13	/	/
	P A個人実技30 (作曲)	(2)	●13	●13	●13	/	/
	P A個人実技45 (作曲)	(3)	●13	●13	●13	/	/
	P A副科個人実技 A (自由作曲)	(2)	●13	●13	●13	/	/
	P A副科個人実技 B (自由作曲)	(2)	●13	●13	●13	/	/
	諸民族の音楽	(2)	●14	/	/	/	/
	諸民族の音楽 A	(2)	/	●14	●14	●14	●14
	諸民族の音楽 B	(2)	/	●14	●14	●14	●14
	吹奏楽概論	(2)	○	/	/	/	/
	世界のポピュラー音楽	(2)	○	/	/	/	/
	音楽スペシャル講義	(2)	○	/	/	/	/
	音楽と歴史 1	(2)	/	○	○	○	○
	音楽と歴史 2	(2)	/	○	○	○	○
	音楽と歴史 3	(2)	/	○	○	○	○
	ポピュラー音楽史	(2)	○	○	○	○	○
	旋律学	(2)	○	/	/	/	/
	対位法	(2)	/	○	○	○	○
	対位法 A	(2)	/	/	/	○	○
対位法 B	(2)	/	/	/	○	○	
西洋音楽史特殊講義1	(2)	/	/	/	○	○	
西洋音楽史特殊講義2	(2)	/	/	/	○	○	
日本音楽史特殊講義	(2)	/	/	/	○	○	